

# 情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	K004	行事名	「2021情報通信月間講演会」 ～ICTの活用による新たな日常の構築に向けて～.	
行事形式	オンライン	主催団体	沖縄情報通信懇談会・沖縄総合通信事務所	
開催日	令和3年6月24日		開催場所	オンライン
行事参加者数	67名		WebサイトURL	<a href="https://www.soumu.go.jp/soutsu/okinawa/hodo/2021/21_06_02-001.html">https://www.soumu.go.jp/soutsu/okinawa/hodo/2021/21_06_02-001.html</a>

## 行事実施概要・アピール等

総務省沖縄総合通信事務所は、6月24日(木)、沖縄情報通信懇談会との共催で、オンライン形式にて「ICTの活用による新たな日常の構築に向けて」をテーマに「2021情報通信月間講演会」を開催しました。

講演1では、総務省地域情報化アドバイザーリーダーの、国立大学法人筑波大学システム情報系社会工学科 川島 教授から「自治体における地域情報化施策」と題し、行政システムの根本課題や、地域の問題解決に資する共創社会、データ共有による地域イノベーションの創出などの重要性について講演がありました。

講演2では、総務省情報流通行政局情報流通振興課 澤田 係長から「テレワークを巡る最新動向」と題し、テレワーク導入の現状と課題や、導入支援に向けた総務省の取組について講演がありました。

講演3では、サイバーセキュリティを巡る最新動向として、総務省サイバーセキュリティ統括官室 石黒 補佐から、サイバーセキュリティ上の脅威、テレワークセキュリティ対策や、地域に根付いたセキュリティコミュニティの形成促進などについて講演がありました。また、国立研究開発法人情報通信研究機構サイバーセキュリティ研究所ナショナルサイバートレーニングセンター 花田 主任研究技術員から、インシデント事例やそのマネジメント・対策、実践的サイバー防御演習(CYDER)について講演がありました。

感染症対策のため、オンライン開催とした講演会でしたが、県内自治体・関係団体・県内外企業などから、67名の参加者が視聴され、新しい日常の構築に向けての情報・方策に対する関心の高さが伺えました。

←ロードバース...セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。



2021情報通信月間講演会  
～ICTの活用による新たな日常の構築に向けて～

開会式の様子  
BGMを流しながらご覧ください  
【主催者挨拶】  
沖縄総合通信事務所 白石 昌義 所長

協賛：情報通信月間推進協議会  
後援：沖縄電波協力会、国立研究開発法人情報通信研究機構、沖縄サイバーセキュリティネットワーク



データは必要な人に届いていない  
価値を十分に生み出せていない

自治体

- 子どもの貧困
- 待機児童
- 高齢者介護
- 健康づくり
- 市街地活性化
- 公共交通
- インフラ維持管理
- 地球環境問題

【講演1】自治体における地域情報化施策  
国立大学法人筑波大学 川島 宏一 教授